

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	君津市スクールミュージアム事業「小櫃小学校 教職員研修」(南総部会)		
開催日時	2023年 7月25日(火) 9時00分～11時00分		
開催場所	君津市小櫃の森	一般参加者	小櫃小学校教職員 10名

活動概要

スクールミュージアム事業は君津市が実施している事業で、今回は小櫃小学校の校長、教頭を含む教職員を対象に実施した。この研修は小櫃の森(千葉県指定教育の森)、校庭の樹木等を観察のポイント、樹木図鑑等の資料を活用して観察、評価をし、子ども達の指導に役立てもらうためでもある。今回は特に、生態系の保全等環境を主テーマにした。開講式の後、先ず樹齢100年を超えるシンボルツリーのヒマラヤシーダー、ソメイヨシノのテングス病とヤドリギ、竹テングス病、水たまりに生育する生態系を壊す特定外来生物のオオフサモ等を観察した。また、クヌギの大木はコルクが厚く、カブトムシやワガタが集まり、子ども達は興味を持つが、危険なハチも集まる話。森に入り、ナラ枯れの実体と原因、かぶれるツタウルシ、ハゼの木などの観察を行った。



全体説明



ヒマラヤシーダーの説明



特定外来生物「オオフサモ」

さらに、中に入り、ムクノキ、エノキの生活との関わり、スギ「杉」のいわれ、ヒノキ、アスナロの気孔の形、極相林となり、食べられるシイの実がなるスダジイ、さらに、ニガキの味見と薬効、ケンボナシ実と薬効等、さらに君津の木(キャラ木)、木更津の木(ツバキ)、袖ヶ浦の木(スダジイ)、富津市の木(サクラ)、千葉県の木(マキ)を確認した。



森の中でムクノキ観察



エノキの大木観察



ケンボナシ観察、秋の果実ジュースが楽しみ

また、我が国の森林の循環利用とSDGsの関係と「学校における持続可能な発展のための教育(EDS)の視点から7つの能力・態度について解説した。

先生方は転勤等で小櫃小学校に勤務しており、小櫃の森についての感心はまだ薄いと感じた。この研修を機会に、植物の奥深さ、人間との関わり等を体感して欲しい。また、現在、NHK朝ドラ、「らんまん」牧野富太郎博士の人生を放送しており、タイムリーであったと感じた。

F I C講師 福村英俊、アシスタント講師 神子秀男、石松成子